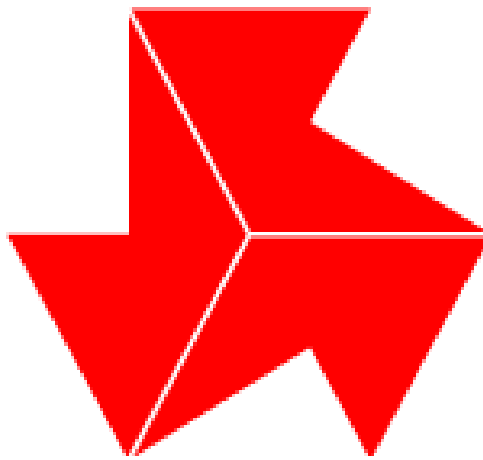


平成29年度 全九州高等学校体育大会
第5回 全九州高等学校少林寺拳法競技大会

実 施 要 項



2017

主 催 九州高等学校体育連盟
熊本県教育委員会

後 援 公益財団法人熊本県体育協会
熊本市教育委員会

主 管 熊本県高等学校体育連盟
熊本県少林寺拳法連盟

1 期日・会場

- (1) 開会式 日 時 平成29年6月17日(土) 15時00分
 会場 熊本武道館剣道場
 住所 〒862-0950 熊本市中心区水前寺5丁目23番2号
 電話番号 096-383-4912
- (2) 競技 日 時 平成29年6月17日(土) 15時30分～17時00分
 平成29年6月18日(日) 9時00分～13時00分
 会場 熊本武道館剣道場
 住所 〒862-0950 熊本市中心区水前寺5丁目23番2号
 電話番号 096-383-4912
- (3) 閉会式 日 時 平成29年6月18日(日) 14時00分
 会場 熊本武道館剣道場
 住所 〒862-0950 熊本市中心区水前寺5丁目23番2号
 電話番号 096-383-4912

(4) 諸会議

会議名	日 時	会場・住所
専門委員長会議	平成29年6月17日(土) 13時	熊本武道館2階会議室 熊本市中心区水前寺5丁目23番2号
監督・引率者会議	平成29年6月17日(土) 14時	熊本武道館剣道場 熊本市中心区水前寺5丁目23番2号

2 競技規則・方法

男女別に次の種目とし、種目ごとの構成・人数・演武時間を次のように定める。なお、組演武(自由)に関しては、競技Ⅰおよび競技Ⅱを実施する。

- (1) 団体演武の部(自由) … 6人 1分30秒～2分
- (2) 組演武の部(規定) … 2人 1分30秒～2分
 組演武の部(自由)
 競技Ⅰ：自由 … 2人 1分30秒～2分
 競技Ⅱ：規定 … 2人 時間制限なし
- (3) 単独演武の部(規定) … 1人 1分00秒～1分15秒
 単独演武の部(自由) … 1人 1分00秒～1分15秒

注1：組み合わせの資格差は設けない。

注2：3人による演武(2人掛)は認めない。

注3：団体演武および組演武は同一高校の生徒とする

注4：組演武(規定)および単独演武(規定)については「3 競技規則・方法(4)」に定める通りとする。また、組演武(自由)の規定内容については、「3 競技規則・方法(5)」に定める通りとする。

- (4) 「一般財団法人少林寺拳法連盟競技規則」に基づき行う。同規則に記載なき事項は、「全国高等学校少林寺拳法大会規則」を準用する。なお、男女混合組み合わせは、不可とする。

- (5) 団体演武のみ、組演武または単独演武と兼ねて出場できる。
- (6) 参加申し込み時に登録した者以外の者の出場はできない。
ただし、団体演武については8名まで登録でき、そのうち6名が演武を行う。
- (7) 組演武（規定）・単独演武（規定）については、下記の技をそれぞれの構成の最初に入れて順序通り演武を行う。
- ア 組演武（規定）
1. 内押受突
 2. 突抜(両手)
 3. 下受順蹴
 4. 十字受蹴
 5. 腕十字固
 6. 外受蹴（※外受蹴については、裏・表のどちらを行ってもよい。）
- イ 単独演武（規定）
1. 天地拳第二系
 2. 轉身蹴
 3. 逆小手裏返投
 4. 天地拳第三系
 5. 義和拳第一系
 6. 上受蹴(表・裏)
- ウ 組演武（規定）・単独演武（規定）については、次の規定を設ける。
- ①規定通り実施されなかった場合は失格とする。
- ②H24.9.1施行（大会規則改訂）により、技の使用について以下の許容範囲を設ける。
演武者が、「見習い・6級・5級・4級」の場合は、3級科目までの技が使用できる。また、演武者が、「3級・2級・1級」の場合は、初段科目までの技が使用できる。
- (8) 組演武（自由）競技Ⅱは「規定演武」を行う。「規定演武」については、次に示す要領とする。
- ア 演武内容は、指定する「技」を行う。
- *公認のボディプロテクター（二重構造の胴）を装着すること。尚、防具については、正常な物を使用し、欠陥や故障状態にあるものを装着しての出場は認めない。
 - *演武は、指定された技を指定した順に行う。（双方は行わない）尚、使い方は昇格考試と同様に、どちらかが「1.3.5」を行い、どちらかが「2.4.6」を行う。
- イ 「指定技」については以下のものとする。

	科目名	資格・拳系	選手A	選手B
1	蹴天三	1級：天王拳	攻者	守者
2	小手抜	6級：龍王拳	守者	攻者
3	屈身突蹴	2級：仁王拳	攻者	守者
4	上受突(表)	6級：仁王拳	守者	攻者
5	上膊捕(両手)	2級：羅漢拳	攻者	守者
6	横轉身蹴	2級：三合拳	守者	攻者

1 構成目 蹴天三 開構え

攻者：中段構えより上段順突、中段逆突、中段廻蹴の三連攻。

※三連目の蹴は直蹴ではなく廻蹴とする。

※スピードを強調し過ぎ、肩腰のついていない三連攻では加点しない。ただし、肩腰の入りを強調するあまり、突や蹴の間が不自然に間延びするのは同じく加点しない。

※相手の蹴反撃をわざと当てるような動きは加点しない。

守者：一字構えより上受、同時受、十字受を行い、中段順蹴で反撃。

※反撃は直蹴または廻蹴とする。

※受け、反撃のタイミングがよく、蹴り返しを相手に当てる。

ア、攻者の踏み込み(適切な間合い)

イ、三連攻(順突・逆突・廻蹴)の肩腰の入り

ウ、後ろ千鳥からの上受、同時受での引き身、十字受での体軸の安定

エ、蹴(体軸の安定)の極め

2 構成目 小手抜 対構え

攻者：中段構えより、順手で相手の順手を握り捕る。

守者：中段構えより差し替えながら鉤手守法、目打ち、支点が動かないように抜き、裏拳打、中段逆突

※中段構えより誘う際に内掌を上に向けるような誘いをしない。

※動きを強調しようとしすぎ、残心が長すぎるものや、動きが止まっているようなものは加点しない。

※払いについては有無を問わない。

ア、攻者がしっかりと引く動作をしている。

イ、守者が後ろ足を差し替えて、十分な鉤手になっている(当身は目打ち)

ウ、寄せ足をして梃子の理で抜き、そのまま裏拳打につなげる。

エ、逆突の肩腰の入り(後足・膝の絞り)と極め

3 構成目 屈身突蹴 対構え

攻者：中段構えより、逆拳を平拳にし、振突

※振突は三日月を狙う。

守者：一字構えより、屈身受、突、蹴

※反撃の突、蹴の間隔は間髪を容れず当てる。

ア、攻者の踏み込み(適切な間合い)

イ、屈身受と流水受を併用してかわす

ウ、突、蹴のタイミングと反撃効果のある間合い

エ、蹴(体軸の安定)の極め

4 構成目 上受突(表) 対構え

攻者：中段構えより、逆拳で手刀打

守者：一字構えより、攻者の手刀打を一步踏み込んで(差替)上受、腰を入れながら中段突、上受を行った手で熊手突

※熊手突の形を正しく行う。

ア、攻者の踏み込み(適切な間合い)

イ、攻者の手刀打ちの肩腰の入り

ウ、差替入身と中段突のタイミングと腰の入り(差替足に重心をしっかりとせる)

エ、間合いを詰めて(少し相手に寄って)熊手突と、その肩腰の入り(後足・膝の絞り)と極め

5 構成目 上膊捕(両手) 対構え

攻者：中段構えより両手で上膊を強く掴み、押す

※攻者の攻め方は幾つかのやり方があるが、今回は両上膊を両手で同時に捕りにいく。

守者：中段構えより両腕を理にかなった範囲で少し下げ上膊を誘う。鉤手守法を行い、順手で上膊抜を行い、抜いた後は、体捌きを行いながら上膊捕を行う。

※鉤手の後の当身の有無と方法は自由とする。また極めの当身の方法も指定しない。

※上膊捕までの過程で、幾つかのやり方があるが、今回は順手側を抜き、逆手側で捕る。

ア、攻者が正しく攻撃している(掴み押し)

イ、十分な鉤手になっている(当身の有無、方法は自由)

ウ、上膊抜の動き(手首の攻め方)と上膊捕の動き(退身、抜く際の足の位置、掛手)

エ、上膊捕の体勢(体軸がぶれず、体と手の位置が適切)と当身(当身の方法は自由)

6 構成目 横転身蹴 対構え

攻者：一字構えより前足差込み中段逆蹴

守者：中段構えより順手で打払受(握拳)、順足にて蹴込み

※打払受の逆拳については、胸前にあっても、外受であってもどちらでも良い。

ア、攻者の差し込み(適切な間合い)

イ、適切な間合いになる横転身

ウ、打払受の動き(攻者の内側足首を受けている)

エ、蹴(体軸の安定)の極め

ウ 競技Ⅱ「規定演武」については、次の規定を設ける。

①指定以外の技を行った場合は、失格とする。

②指定技の順序が違った場合は、失格とする。

③指定された以外の連反攻等を行った場合は、総合点より10点減点を行う。

(9) 組演武(自由)の表彰選考は、競技Ⅰ・Ⅱの合算で行う。

3 引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。

(2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者としそれが外部指導者の場合は傷害・賠償責任者保険(スポーツ安全保険)に必ず加入することを条件とする。

(3) 但し、各県における規定が定められ、本基準内であれば、その規定に従うものとする。

4 参加資格

(1) 参加者は各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本競技実施要項により九州大会の参加資格を得た者に限る。

(2) 一般財団法人少林寺拳法連盟への年度登録が完了していること。

(3) 年齢は平成10年(1998年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(4) チームの編成については、全日制・定時制・通信制の混成は認めない。

(5) 統廃合の対象になる学校については当該校を含む合同チームを認める。

(6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる。)ただし一家転住等やむを得ない場合は、所属県高体連会長の認可があればこの限りではない。

(7) 出場選手は予め健康診断をうけ、学校長および所属県高体連会長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例による学校の参加については、全九州高等学校体育大会開催基準要項のとおりとする。

5 参加制限

(1) 団体演武 ア 各県男女1チームとする。

イ 1チームの人数は、選手6名と補欠2名以内とする。

(2) 組演武 各県男女それぞれ2組(4人)とする。

(3) 単独演武 各県男女それぞれ2人とする。

6 参加申込

(1) 申込締切日 平成29年6月9日(金)

(2) 申込方法 所定の参加申込書により3部作成し各県高体連少林寺拳法専門部に提出する。

各県専門委員長は1部を各県高体連の控えとし、2部を宿泊申し込みとともに郵送すること。

(3) 申込先

〒869-1233 熊本県菊池郡大津町大津 1340 熊本県立大津高等学校 出口 利博 TEL 096-293-2751 FAX 096-292-1850 携帯 090-3416-8902

※個人情報に関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

7 参加負担金

団体演武の部 1チーム 18,000円

組・単独演武の部 1名 1,800円

納入方法 各県専門委員長が、下記口座に6月9日(金)までに振り込むこと。

振込先

※ゆうちょ銀行口座から振り込む場合

ゆうちょ銀行 記号 17100 番号 18259651 名義 <small>くまもとけんこうたいれんしょうりんじけんぼうせんもんぶ</small> 熊本県高体連少林寺拳法専門部

※他金融機関から振り込む場合は、次の内容を指定すること。

ゆうちょ銀行 店名 七一八(ナイチハチ) 店番 718 普通預金 1825965 名義 <small>くまもとけんこうたいれんしょうりんじけんぼうせんもんぶ</small> 熊本県高体連少林寺拳法専門部

8 組合せ

各県高等学校体育連盟陸上競技専門部の申し合わせ事項に従って、熊本県高等学校体育連盟において行う。原則として開催県高等学校体育連盟理事長が同席する。

9 表彰

(1) 男女各種目3位まで表彰する。各種目とも第3位まで賞状を授与する。

(2) 男女、県の総合得点により1県を総合優勝とし、優勝旗と賞状を授与する。

・各種目の得点は、1位に3点、2位に2点、3位に1点とする。ただし各種目において出場数が3に満たない場合は、3からの欠数を得点より減じる。

10 宿泊

(1) 参加者の宿舎は大会事務局の指定宿舎とする。宿舎の割り当ては大会事務局が行う。

(2) 所定の宿泊申し込み用紙に必要事項を記入のうえ、3部作成すること。

なお、1部は当該県高体連控えとし、2部を各県高体連競技専門部が取りまとめ、参加申込書に同封し送付すること。

- (3) 宿泊費は、1人あたり1泊2食8,000円(税サービス料込)を上限とし、昼食弁当代600円(税込み)を上限とする。
- (4) 宿舎決定後の宿泊人数の変更について
宿泊人数の変更については、当該校の引率責任者が直接、宿舎へ連絡を取り、相互で確認すること。
- (5) 宿泊等の詳細に関しては、旅行業者の案内にて、5月中に各県の専門委員長宛に郵送する。

11 参加上の注意

- (1) 所属県名、学校名を記載したゼッケンをつけること。(大きさはB5～A4サイズ程度)また、道衣以外のもの(例:組演武(自由)の競技Ⅱ以外での胴, はちまき, ワッペン)の着用は禁止する。
- (2) 参加選手は、必ず健康保険証を持参すること。競技中の病気・傷害等の応急処置は主催者で行うがその後の責任は負わない。
- (3) その種目において棄権した選手は、その後の競技に出場することはできない。
- (4) 選手および監督・引率者は、監督・引率者会議、開会式から閉会式まで、原則として全日程に参加すること。

12 各県専門委員長へ確認

各県の専門委員長は、県大会の日程の関係で申し込みが遅れる場合はあらかじめ連絡すること。

《連絡先》熊本県高体連少林寺拳法準専門部 専門委員長 出口 利博

TEL 096-293-2751 携帯090-3416-8902